

水を備える

志學館中等部 二年 横山 美優

これからの時期は、梅雨や台風などの水による災害がよく起きます。

私の父が

「水害は沢山水があるけど、一番先に困るのは、断水だよ。」

と、教えてくれました。

なぜ断水するのか調べてみると。

「浄水施設などは、川や湖などの側にあるから！だから、普通の建物より、浄水施設は大雨による洪水の被害にあいやすいのだ。」

と書いてありました。

「なるほど、水はあっても、自分たちが、使える水ってとても貴重だな」

と、改めて感じました。

問題はこれからです。

では、こんな貴重な水をどう守っていけばいいのでしょうか。

ある自分は、

「いやいや、そんなの洪水の時に備えるだけだつて。」

もう一人の自分は、
「日頃から水を大切に使わなければ、備えられないだろうな。」

私の場合は、日頃からペットボトルなどを何本か備えておくことが大事だと思っ
ています。なぜなら、洪水が起きたときに、水を求めようとしても、その時は困っている人が大勢います。そんな中、ペットボトルを求めて、手に入ったとしても、ほんの少しだと思
いました。そう考えると、やっぱり日頃から備えることが大事だと感じました。

しかし、備えようと思ってもなかなか行動に移れません。それは、
「水なんて山ほどあるよ！」

と思う自分がいるからです。蛇口をひねればずっと絶えることなく出てくる水です。しかも、一日に一人あたりが使う水の量は、東京都水道局によると、約二百十四リットルと想

像出来ないほどの量です。

だから、私はどうすれば、様々な人たちが日頃から備えようと思えるか考えました。

まずは、水が使えなくなったら、どうか想像してみることですよね。または、水害に関する動画などを見て自分にも身近なことだということを理解することです。これらのことをするだけで、

「早く備えなければ」

と感じると思いました。

そして私たちは、備えることが出来る環境にあることも忘れないで欲しいです。

なぜなら、地球にはきれいな水が日頃から飲めない人もいるからです。きれいな水が当たり前な日本人はもう少し大切に水を使うべきだと思います。

だから、この災害対策をきっかけに、水を大切にしたいと思っています。

さらに、感じると共に、まずは自分が実行して、様々な人たちに水がどれほど大切かを、

伝えていけたらなと思います。

これらのことから、水の大切さを感じて、災害にも備えることで、水を大切に出来るような人になりたいです。

これから私にできることは、皿を洗うときには、あらかじめ水に皿をつけておいて汚れが取れやすくして、少しでも水を使う時間を減らすことで節約できると思います。

また、浴槽の水を再利用して洗濯してみようと思います。

水を日頃から備えることで、より安心して過ごせるといいなと思います。そして、浄水場に頼りすぎないようにして、大雨の時は、水が出るうちに備えられたらいいと思います。

「備えることで、水の大切さを学んでいきたいです！」